



ミキサーアクセサリ

**DM7 CONTROL**

取扱説明書

# 目次

<b>安全上のご注意</b>	<b>3</b>
<b>はじめに</b>	<b>7</b>
使用対象者.....	7
使用目的.....	7
付属品.....	7
拡張ライセンス.....	7
ファームウェアのアップデート.....	7
マニュアルの構成.....	7
表記について.....	7
<b>各部の名称と機能</b>	<b>8</b>
トップパネル.....	8
リアパネル.....	9
<b>2つの使い方</b>	<b>11</b>
DM7コンソールを連結して使う.....	11
遠隔コントローラーとして使う.....	11
<b>DM7コンソールと連結する</b>	<b>12</b>
<b>DM7コンソールと接続する</b>	<b>13</b>
新規接続の場合.....	13
接続設定済みの場合.....	13
<b>工場出荷時の状態に戻す(初期化)</b>	<b>13</b>
<b>ダストカバーを装着する</b>	<b>14</b>
<b>ソースコードの配布</b>	<b>14</b>
<b>資料</b>	<b>15</b>
一般仕様.....	15
寸法.....	16
<b>アフターサービス</b>	<b>18</b>
<b>保証書</b>	<b>19</b>

# 安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

## 必ずお守りください


ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。お読みになったあとは、本製品を使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

## 「警告」「注意」について

誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度により区分して掲載しています。

## 記号表示について

本製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

注意喚起を示す記号	
禁止を示す記号	
行為を指示する記号	



**警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

## 異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。また、[EXT DC INPUT]に接続している電源も本体から外す。

- ・電源コード/プラグが破損した場合
- ・製品から異常なおいや煙が出た場合
- ・製品の内部に水や異物が入った場合
- ・製品に亀裂、破損がある場合

そのまま使用を続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

## 電源



禁止

電源コードが破損するようなことをしない。

- ・ストーブなどの熱器具に近づけない
- ・無理に曲げない
- ・傷つけない
- ・電源コードに重いものをのせない

感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源は本製品に表示している電源電圧で使用する。

誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源アダプターは、必ず指定のものを使用する。電源コードは、必ず付属のものを使用する。

故障、発熱、火災などの原因になります。

付属の電源コードは日本国内専用(125Vまで)です。



禁止

付属の電源コードをほかの製品に使用しない。

故障、発熱、火災などの原因になります。



必ず実行

電源プラグのほこりをきれいに拭き取る。

感電やショートのおそれがあります。

必要に応じて、定期的にはこりを拭き取ってください。



必ず実行

電源プラグは根元まで確実に差し込む。

火災やショートのおそれがあります。



必ず実行

本製品をコンセントの近くに設置する。

本製品は複数の電源を受給します。電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源を切り、すべての電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源を切った状態でもすべての電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。電源プラグに容易に手が届き、操作できるように設置してご使用ください。



必ず実行

長期間使用しないときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

火災や故障の原因になります。



禁止

雷が鳴りだしたときは、本製品や電源プラグに触らない。

感電の原因になります。

## 接続



必ず  
接地接続

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。

確実に接地接続しないと、感電や火災、または故障の原因になります。

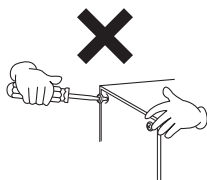
## 分解禁止



禁止

本製品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、けが、または故障の原因になります。本製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。



## 水に注意



禁止

- 本製品の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

## 火に注意



禁止

本製品の近くで、火気を使用しない。

火災の原因になります。

## 聴覚障害



必ず実行

電源を入れたり切ったりする前に、必ず本製品や接続している機器の音量(ボリューム)を最小にする。

聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。



必ず実行

オーディオシステムの電源を入れるときは、パワーアンプをいつも最後に入れる。電源を切るときは、パワーアンプを最初に切る。

聴覚障害やスピーカーの損傷の原因になることがあります。



**注意** 「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

## 電源



禁止

電源アダプターは、布や布団で包んだりしない。

熱がこもって発熱し、やけどや火災の原因になることがあります。



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

## 設置と接続



禁止

不安定な場所や振動の多い場所に置かない。

本製品が転倒して故障したり、けがをしたりする原因になります。



禁止

本製品を子供の手の届くところに置かない。

本製品は子供がいる可能性のある場所での使用には適していません。



禁止

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。

内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



必ず実行

本製品を移動するときは、必ずすべての接続ケーブルを外した上で行う。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

本製品をDM7コンソールと連結して持ち運ぶ場合は、必ず2人以上で行う。

本製品を1人で無理に持ち上げると、腰を痛めたり、本製品が落下して破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。

## お手入れ



必ず実行

本製品をお手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

## 取り扱い



禁止

本製品の上にとったり重いものをのせたりしない。

本製品が破損したり、けがをしたりする原因になります。

## 使用上のご注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

### 製品の取り扱い / お手入れに関するご注意

- 本製品をインターネットに接続する場合は、セキュリティを保つため必ずルーターなどを経由し接続する。経由するルーターなどには適切なパスワードを設定する。  
電気通信事業者(移动通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)には直接接続しない。
- テレビやラジオなど、他の電気製品の近くで使用しない。  
本製品、または他の電気製品に雑音が生じる原因になります。
- 極端に温度の高いところや低いところ、ほこりや振動の多いところで使用しない。  
本製品のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- 温度変化が激しい場所に設置しない。  
製品内部や表面に結露が発生し、故障したりする原因になります。
- 結露が発生しているおそれがあるときは、しばらく放置してから電源を入れる。  
結露した状態で電源が入ると、故障の原因になります。
- 本製品上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かない。  
パネルの変色/変質の原因になります。
- お手入れのときは、乾いた柔らかい布を使用する。次亜塩素酸ナトリウム、アルコール、ベンジン、シンナー、洗剤、化学ぞうきんなどで製品の表面を拭かない。  
変色/変質する原因になります。
- フェーダーに、オイル、グリスや接点復活剤などを注入しない。  
電気接点の接触やフェーダーの動きが悪くなる可能性があります。

# お知らせ

## データの著作権に関するお知らせ

- ソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を無断で複製、改変することはできません。

## 製品の機能 / データに関するお知らせ

- 本製品で使用しているオープンソースライセンスは、本体のディスプレイで確認できます。詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

## 取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて説明のためのものです。
- ソフトウェアまたは取扱説明書を使用した結果と影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Macは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。

## 廃棄に関するお知らせ

- 本製品は、リサイクル可能な部品を含んでいます。廃棄される際には、廃棄する地方自治体にお問い合わせください。

データが破損したり失われた場合の補償や、不適切な使用や改造により故障した場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。

高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品

機種名 (品番)、製造番号 (シリアルナンバー)、電源条件などの情報は、製品の底面にある銘板または銘板付近に表示されています。製品を紛失した場合などでもご自身のものを特定していただけるよう、機種名と製造番号については以下の欄にご記入のうえ、大切に保管していただくことをお勧めします。

機種名

---

製造番号

---

(1003-M06 plate bottom ja 01)

# はじめに

このたびは、ヤマハDM7 Controlをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品のさまざまな機能を十分にご活用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また、お読みになったあとも、大切に保管してください。

## 使用対象者

本製品は、ホールやイベント、スタジオなどで、PAシステムでのミキシング操作ができる方を対象としています。

## 使用目的

本製品は、デジタルミキシングコンソール DM7、DM7 Compact (以下、DM7 コンソール) と組み合わせて機能を拡張することで、お客様の業務効率をさらに高めるために使用します。

## 付属品

- 電源コード×1
- DEK-DM7-BR LICENSE CODEリーフレット
- DEK-DM7-TH LICENSE CODEリーフレット
- 取扱説明書(本書)

## 拡張ライセンス

DM7コンソールのファームウェアアップデートを行い、ライセンスコードを使ってアクティベートすることで、放送向けや劇場向けに機能を追加でき、DM7 Controlをさらに便利にお使いいただけます。アクティベート方法については、付属のLICENSE CODEリーフレットをご参照ください。

拡張ライセンス	対象アプリケーション
DEK-DM7-BR	放送
DEK-DM7-TH	劇場

機能の詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

## ファームウェアのアップデート

本製品は、操作性向上や機能の追加、不具合の修正のために、本体のファームウェアをアップデートできる仕様になっています。

ファームウェアのアップデートに関する情報は、下記ウェブサイトに掲載されています。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

アップデートの手順や本体の設定については、ウェブサイトに用意されているファームウェアアップデートガイドをご参照ください。

## マニュアルの構成

### 取扱説明書(本書)

主にパネル上の各部の名称と機能について説明していません。

### DM7シリーズ リファレンスマニュアル

DM7、DM7 Compact、DM7 Controlのすべての画面と機能や操作方法を詳細に説明しています。

<https://manual.yamaha.com/pa/mixers/dm7/rm/>



各マニュアルはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。ヤマハウェブサイトには常に最新のマニュアルデータが掲載されていますので、必要に応じてご活用ください。

<https://download.yamaha.com/>

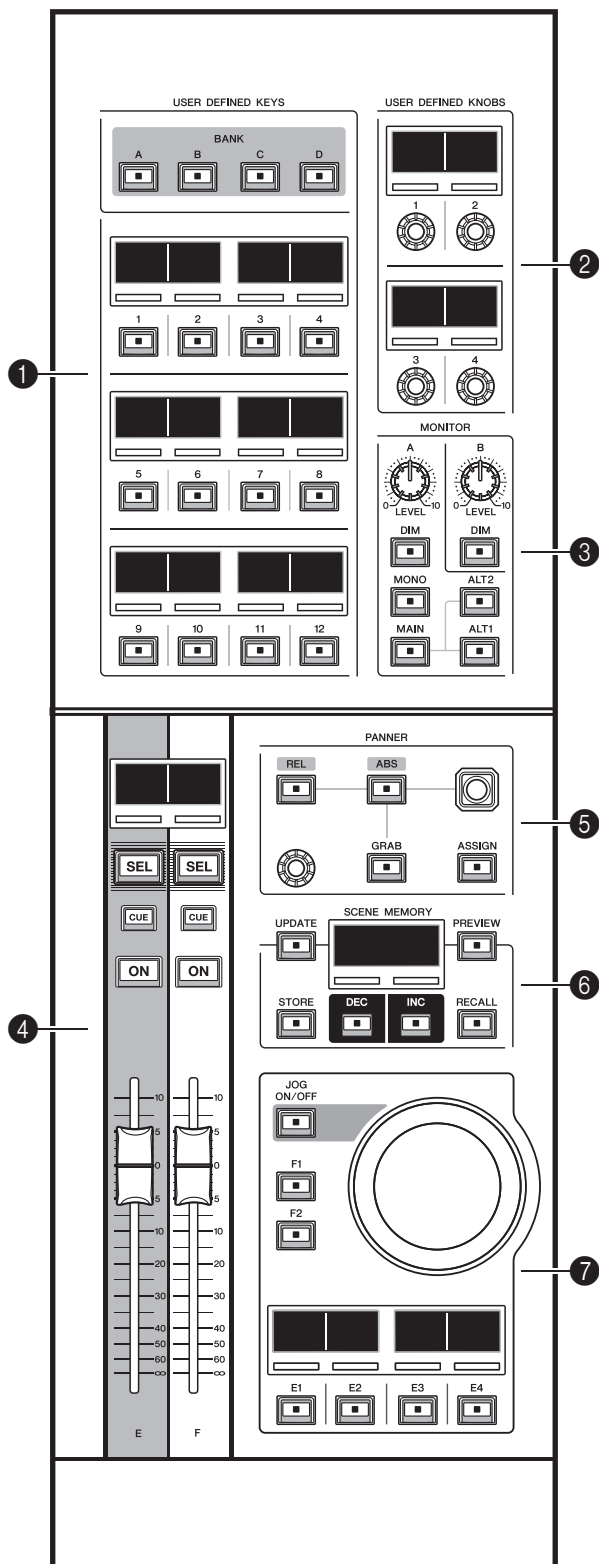
## 表記について

本書では、パネル上にあるスイッチ類を「キー」と呼びます。パネル上の操作子は、画面内に表示される仮想のボタンやノブ類と区別するために、名称を[ ]でくくって表記します(例:[HOME])。

# 各部の名称と機能

## トップパネル

詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。



### ① [USER DEFINED KEYS]

あらかじめ割り当てた機能进行操作します。[BANK]で操作するバンクを切り替えます。機能の割り当ては、DM7コンソールの画面から行います。

### ② [USER DEFINED KNOBS]

あらかじめ割り当てた機能进行操作します。4つの機能をアサインでき、バンクはありません。機能の割り当ては、DM7コンソールの画面から行います。

### ③ [MONITOR]

[LEVEL A]または[LEVEL B]を使ってモニターの出力レベルを調節します。また、[DIM]を使ってDIMMER进行操作します。

モニターAでは、[MONO]を押すと、Out ModeをMONOに変更できます。また、[MAIN]/[ALT1]/[ALT2]を使って、モニターするOutputソースの切り替えができます。

### ④ チャンネルストリップセクション

DM7コンソールで割り当てたE/FチャンネルのCUSTOM FADERのチャンネルストリップ进行操作します。

### ⑤ [PANNER]

PANNER进行操作します。ジョイスティックでX/Y方向、エンコーダーでZ方向进行操作します。エンコーダーには動作させる機能をアサインできます。[REL]と[ABS]では、相対値(REL)移動か絶対値(ABS)移動の切り替えができます。[GRAB]を押すと、PANNERの位置を即座に反映できます。また、[ASSIGN]を使って、PANNER機能を連携している画面をDM7コンソールに表示できます。

### ⑥ [SCENE MEMORY]

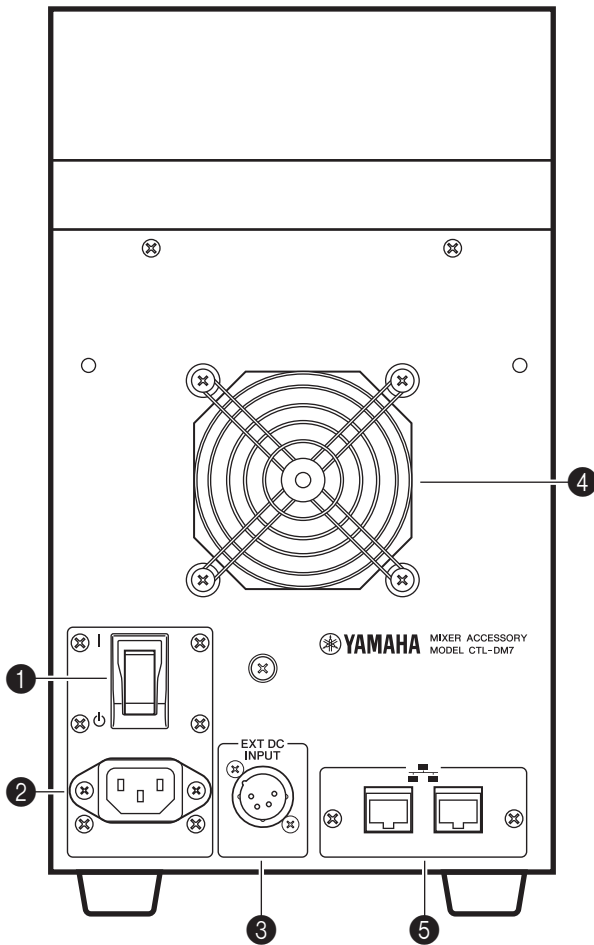
シーンメモリーに関する操作を行います。選択されているシーンメモリーがSCENE MEMORYディスプレイに表示されます。

### ⑦ ジョグホイールセクション

あらかじめ割り当てた機能をジョグホイール、[F1]/[F2]や[E1]~[E4]で操作します。ディスプレイには[E1]~[E4]に割り当てた機能を表示します。機能の割り当ては、DM7コンソールの画面から行います。



# リアパネル



## ① [ I ] / [ O ] (電源スイッチ)

電源のオン ( I ) / オフ ( O ) を切り替えます。長期間使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いてください。

### ご注意

電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

## ② AC IN(電源入力)端子

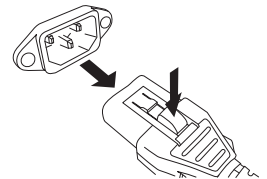
付属の電源コードを接続します。  
まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。  
電源コードを接続するときは、ロックされるまでしっかり奥に差し込んでください。付属の電源コードはラッチによる機構 (Vロック) を備えており、電源コードが意図せず外れてしまうのを防ぎます。



### 注意

電源コードを接続したり、取り外したりする前に必ず電源をオフにしてください。

電源コードを取り外すときは、電源コードのラッチを押して取り外してください。



## ③ [EXT DC INPUT]

本製品の内蔵電源のバックアップとして、外部電源 (DC 24 V) を供給するXLR4ピン端子です。ヤマハ電源アダプターPA-700またはヤマハ推奨の同等品を接続してください。

電源アダプターとの接続手順は、まず電源アダプターの電源コードと電源アダプターを接続し、次にDCプラグをこの端子に差し込みます。最後に電源プラグをコンセントに差し込みます。



### 注意

- 外部電源を接続する場合は、必ず外部電源の電源をオフにしてから接続してください。故障や感電の原因になります。
- [EXT DC INPUT]には、Limited Power Source (有限電源) に適合する、定格DC 24 Vの電源を使用してください。

## NOTE

- 電源スイッチでのオン/オフはできません。
- 外部電源を接続した場合、本製品は内蔵電源と外部電源の両方をオンにしても、一方だけをオンにしても正常に動作します。
- 両方の電源をオンにした状態で、使用中に片方の電源供給が途絶えた場合でも正常に動作し続けます。

### ④ 排気口

本製品には冷却用ファンが装備されています。ここから排気が行われますので、障害物などで排気口をふさぐことのないようにご注意ください。吸気は、前面下の通風孔から行われます。



#### 注意

本製品の通風孔(放熱用スリット)をふさがないでください。内部の温度上昇を防ぐため、本製品の前面には通風孔があります。通風孔をふさぐと、製品内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。

### ⑤ ネットワーク端子

イーサネットケーブル(CAT5e以上を推奨)を使用して、コンピューターと接続するRJ-45端子です。DM7 Editorなどの対応アプリケーションを使用して、外部からコントロールします。

また、L2スイッチが内蔵されているため、一方をDM7 コンソールに、もう一方をコンピューターなどに接続するだけで、DM7 コンソールと機能を連携できます。リダンダント接続には対応していません。

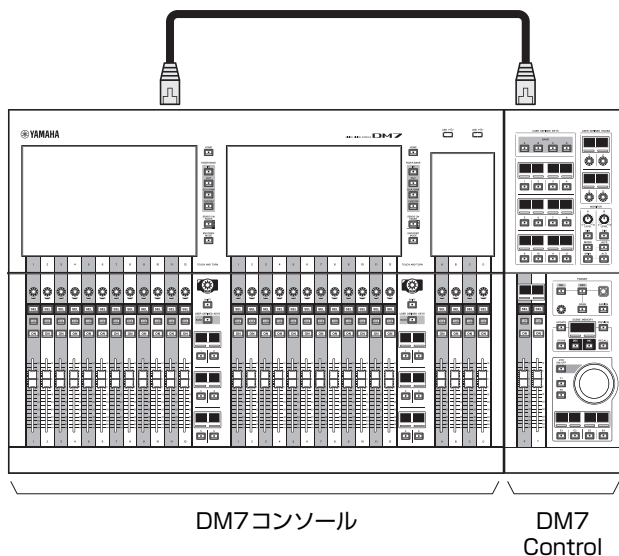
#### ご注意

電磁干渉防止のためには、STP (Shielded Twisted Pair) ケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をご使用ください。

## 2つの使い方

詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

### DM7コンソールを連結して使う

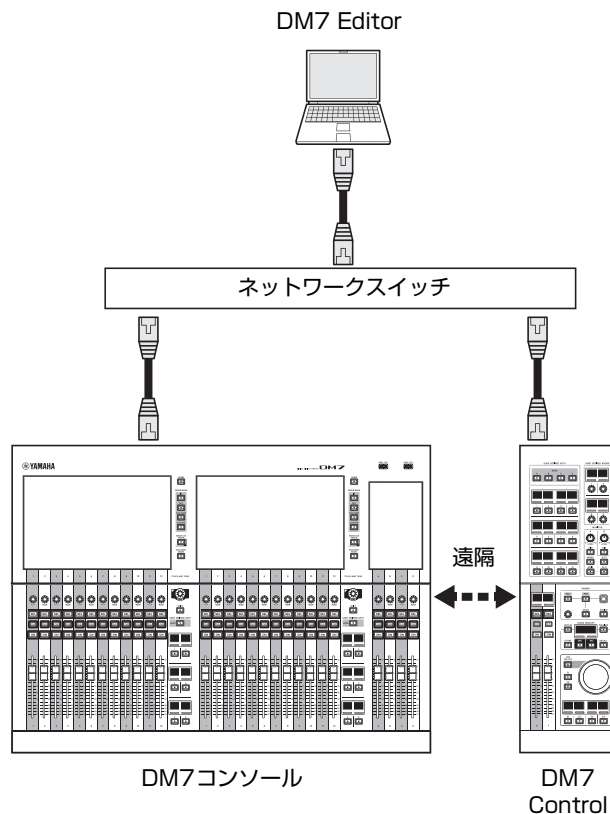


本製品とDM7コンソールを連結金具で固定して使用できます。(「DM7コンソールと連結する」→12ページ)  
ネットワークケーブルで接続し、DM7コンソールの画面を見ながら操作します。

#### NOTE

DM7コンソールと連結して使用する場合は、コンソールと一体のように動作します。

### 遠隔コントローラーとして使う



本製品は、ネットワークケーブルで接続し、DM7コンソールと離れた場所で使用できます。  
また、コンピューターと接続し、DM7 Editorの画面を見ながら操作することもできます。

#### NOTE

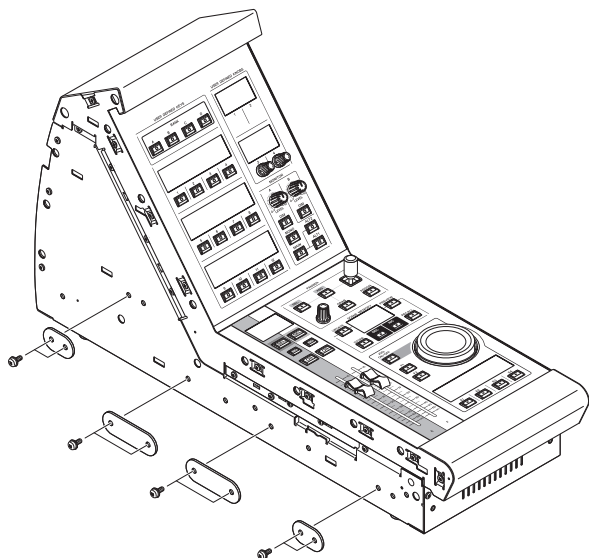
遠隔コントローラーとして使用する場合、一部の機能はDM7コンソールと連携せず個別に動作します。

# DM7コンソールと連結する

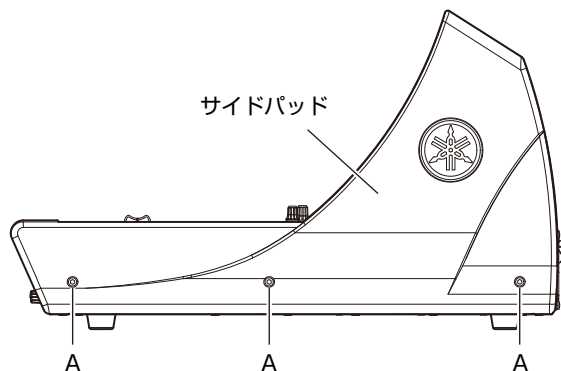
1. 金具とネジを本製品から取り外します。  
金具は計4個、ネジは計8本付属しています。

## NOTE

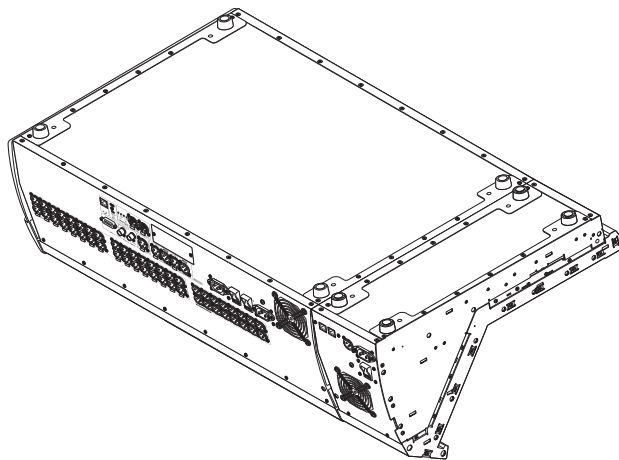
金具とネジを使用しないときは、再度取り付けておくことをおすすめします。



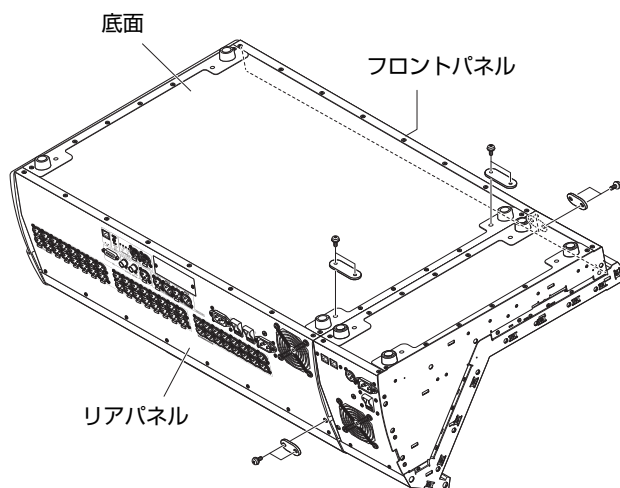
2. 本製品と連結する側のDM7コンソールのサイドパッドを取り外します。  
サイドパッドのネジ3本(A)をすべて外してください。本製品はDM7コンソールのどちら側でも連結できます。



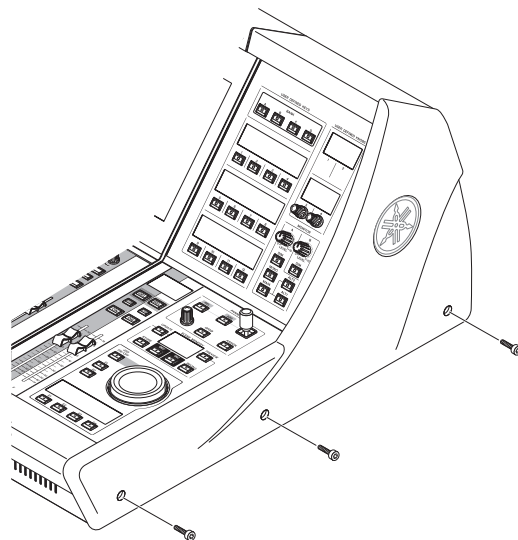
3. 本製品とDM7コンソールを上下逆にして、連結する状態に並べます。



4. 金具4個すべてを取り付けます。(リアパネル:1箇所、底面:2箇所、フロントパネル:1箇所)  
必ずすべての金具を固定してください。



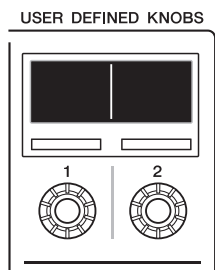
5. 連結した本製品とDM7コンソールの上下を元に戻し、サイドパッドを本製品に取り付けます。



## DM7コンソールと接続する

詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

下記操作には、[USER DEFINED KNOBS]の上部のディスプレイとエンコーダーを使用します。



**エンコーダー[1]:**メニューや画面をキャンセルまたはバックしたいときに押します。

**エンコーダー[2]:**メニューや画面を進めるときは右に回し、戻すときは左に回します。実行や選択したいときは押します。

### NOTE

エンコーダー[1]と[2]を同時に押すとMenu画面に入ります。

## 新規接続の場合

### 1. ネットワークを設定します。

新規接続の場合は、本製品を起動するとMenu画面に入ります。Menu画面からNetwork画面に進みます。

#### ■DHCPを使用するとき

Network画面のModeでDHCPを選択します。

#### ■Static IPを使用するとき

Network画面のModeでStatic IPを選択します。IP Addressを設定したら画面を進め、Subnet Mask、Default Gatewayを正しく設定してください。

### 2. DM7コンソールを接続します。

Menu画面からConnection画面に進みます。

#### ■検出されたDM7コンソールを選択するとき

Connection画面でエンコーダー[2]を右に回すと検出されたDM7コンソールが表示されるので接続先を選択します。

#### ■接続先のIPアドレスを直接指定するとき

Connection画面からDirect IP画面に進み、IPアドレスを入力します。

## 接続設定済みの場合

同一ネットワークに存在するDM7コンソールを検出すると自動接続します。自動接続しない場合は、新規接続の場合の手順を行ってください。

### NOTE

接続設定済みの場合にMenu画面に入りたいときは、[USER DEFINED KNOBS]のエンコーダー[1]と[2]を同時に押してください。

## 工場出荷時の状態に戻す(初期化)

本体の内蔵メモリーにエラーが起きたときは、内蔵メモリーを初期化できます。

### ご注意

内蔵メモリーを初期化すると、本体に保存した内容がすべて消去されます。ご注意ください。

チャンネルストリップセクションのチャンネルEとF両方の[SEL]キーを押しながら電源を入れてください。

工場出荷時の設定に戻ります。

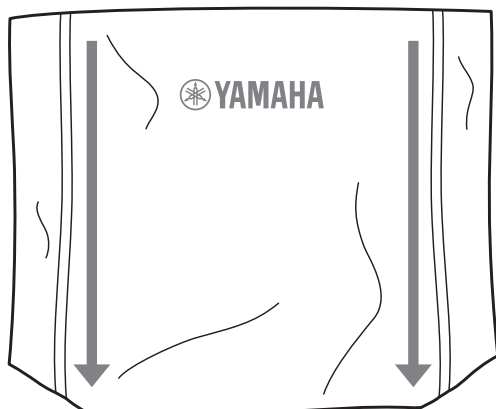
### NOTE

詳細はDM7シリーズリファレンスマニュアルをご参照ください。

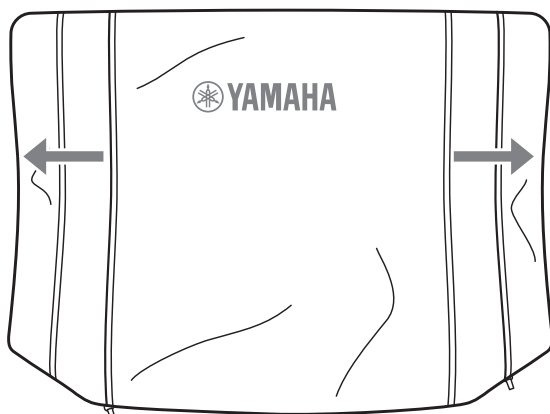
## ダストカバーを装着する

DM7コンソールに付属されているダストカバーは、本製品とDM7コンソールが連結した状態で装着できます。イラストはDM7のダストカバーです。

### 1. ファスナーをリア側からフロント側へ開けます。



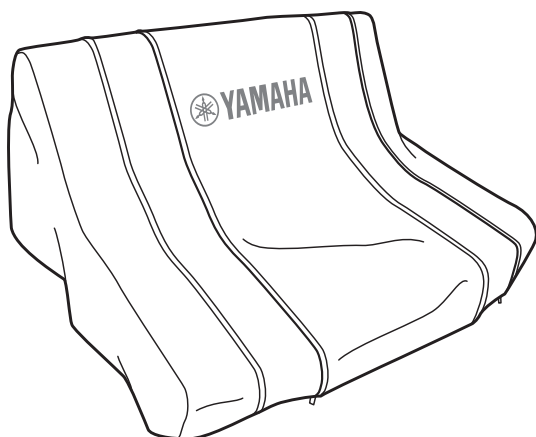
### 2. ファスナーを完全に開け、カバーを両側に広げます。



### 3. 連結した本製品とDM7コンソールにダストカバーを装着します。

#### NOTE

ファスナーを完全に開けた状態でファスナーの持ち手はフロント側にありますが、リア側に移動させておくことができます。



## ソースコードの配布

本製品の最終出荷日から3年間は、製品のソースコードのうちGNU General Public License / GNU Lesser General Public License / RealNetworks Public Source Licenseに基づいてライセンス供与された部分については、ソースコードを配布できます。以下の住所にお問い合わせください。

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1  
ヤマハ株式会社 音響事業本部 プロフェッショナルソリューション事業部 グローバルマーケティング&セールス部

ソースコードの配布自体は無償ですが、ソースコードの送料につきましてはご負担いただけます。また、ソースコードは以下のURLでも配布しております。

<https://www.yamahaproaudio.com/>

- 弊社(または弊社認定の関係者)以外の第三者による、この製品のソフトウェアに対する変更や追加、削除によって発生したいかなる損害に対しても、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社により一般に公開されたソースコードの再利用は保証されておりません。ソースコードに関して弊社は一切責任を負いません。

# 資料

## 一般仕様

フェーダー		100 mm touch-sensitive motorized fader × 2
電源電圧	AC INPUT	AC 100-240 V、50/60 Hz、AC電源入力: Vロックタイプ
	EXT DC INPUT	DC 24 V±1.2 V、0.78 A以上、XLR4ピン端子*1
消費電力		20 W
外形寸法 (W × H × D)	DM7 Controlのみ	191 mm × 323 mm × 562 mm (連結金具/ネジ、ゴム足含む)
	DM7と連結した場合	973 mm × 324 mm × 564 mm (サイドパッド、ゴム足含む)
	DM7 Compactと連結した場合	648 mm × 324 mm × 564 mm (サイドパッド、ゴム足含む)
質量		7 kg
NC値 *2	Fan Speed LOW	NC=20
	Fan Speed HIGH	NC=30
動作温度範囲		Min: 0°C、Max: 40°C
保管温度範囲		Min: -20°C、Max: 60°C
付属品		取扱説明書、電源コード、DEK-DM7-BR LICENSE CODEリーフレット、DEK-DM7-TH LICENSE CODEリーフレット
別売オプション		電源アダプター PA-700

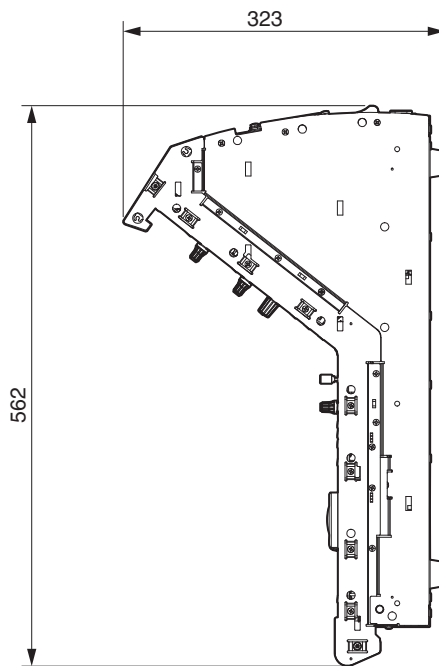
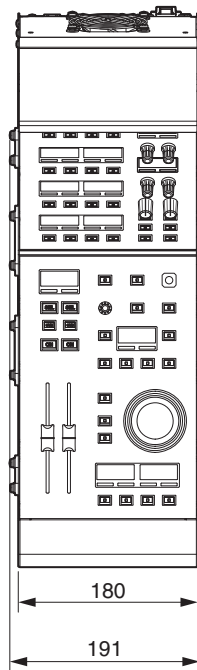
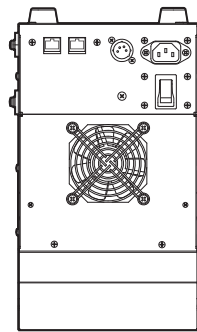
\*1. 4pin=DC 24 V、1pin=GND、2,3pin=N.C.

\*2. 機器(フロントパッド)先端から、手前30 cm、上30 cm位置で測定

本書は、発行時点での最新仕様で説明しています。最新版は、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

# 寸法

## DM7 Control



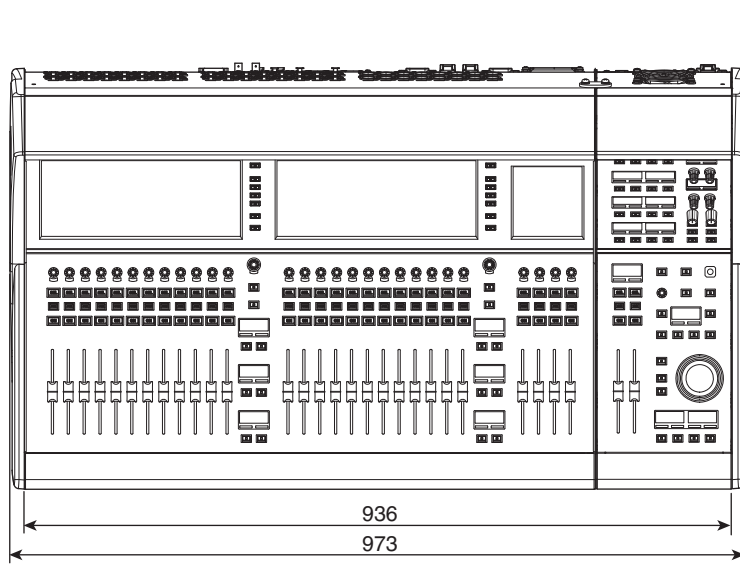
外装色マンセル近似値: N2.25

単位: mm

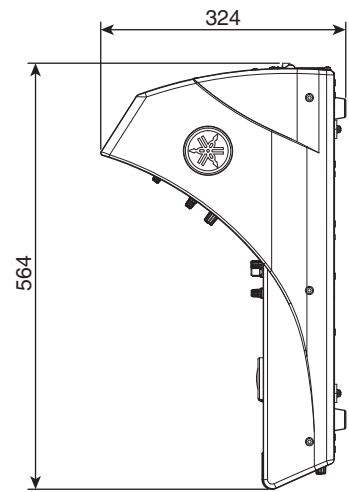


下図は本製品をコンソールの右側に連結した場合の例です。

### DM7 ControlとDM7を連結した場合

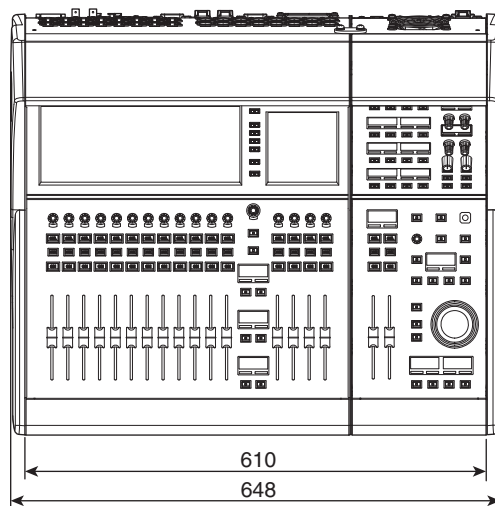


外装色マンセル近似値: N2.25

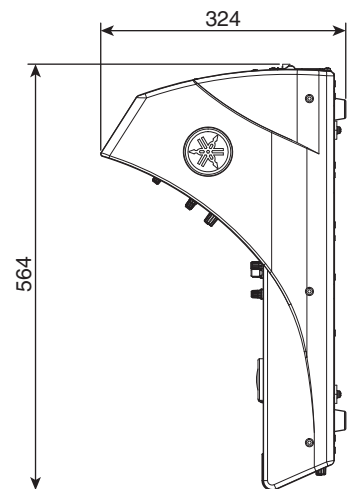


単位: mm

### DM7 ControlとDM7 Compactを連結した場合



外装色マンセル近似値: N2.25



単位: mm

# アフターサービス

## お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

### ●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



**0570-050-808**

ナビダイヤル®

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

オンラインサポート <https://jp.yamaha.com/support/>

### ●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



**0570-012-808**

ナビダイヤル®

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。  
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX **03-5762-2125** 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)  
**06-6649-9340** 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

**修理品お申込み窓口**

東日本サービスセンター  
〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1  
JMT 京浜E棟 A-5F  
FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター  
〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17  
ナンバ社本ビル 7F  
FAX 06-6649-9340

**受付時間**  
月曜日～金曜日 10:00～17:00  
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

### ●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA 営業部  
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12  
KDX 箱崎ビル

## 保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

### ●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

### ●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

### ●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

#### 有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

### ●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

### ●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

### ●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

\* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などの変更になる場合があります。

## 保 証 書

持込修理

品 名	ミキサーアクセサリー		
品 番	DM7 Control (CTL-DM7)		
※シリアル番号			
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	ご住所	□□□□-□□□□	
	お名前	様	
	お電話		

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)をあわせてご提示ください。

(詳細は保証規定をご覧ください)

※ 販 売 店	店 名	印
	所在地	
	電 話	(      )

**株式会社ヤマハミュージックジャパン** PA営業部  
〒103-0015  
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル  
TEL. 03-5652-3850

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

## 保証規定

1. 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、ヤマハ修理ご相談センター\*にお問合わせください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
  - (1) 本書のご提示がない場合。
  - (2) 本書または購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
  - (3) 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
  - (4) お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
  - (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
  - (6) お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
5. この保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
6. この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
  - ・この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、ヤマハ修理ご相談センター\*にお問合わせください。
  - ・ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

\* その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

ヤマハ株式会社

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト  
<https://www.yamahaproaudio.com/>  
ヤマハダウンロード  
<https://download.yamaha.com/>

© 2023 Yamaha Corporation  
2023年6月 発行  
IPEM-B0



VGK8750